

# 新たな教員支援のあり方について

令和7年12月22日開催 第64回津市総合教育会議

# 教育現場の声

令和7年5月～

新たな教員支援策を検討するため、教育現場への聴き取り等を実施

- ・ 津市教員支援員及び津市教員支援員配置校の校長に対するアンケート
- ・ 津市小中学校長会への聴き取り
- ・ 三重県教職員組合津支部への聴き取り

## 教育現場の声 特に多かった意見

- ① 国の教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）と同様の役割を担ってくれる支援スタッフのさらなる拡充
- ② 学校給食費など学校徴収金業務の教員以外への移行

※ 上記①の場合、人材・配置校が限定されるため、学校間の不公平感が生じる

教育現場における学校給食会計業務について、さらなる調査を実施

# 学校給食会計業務に関する調査結果

## 調査内容・回答

- 「学校給食会計業務」は、他の業務と比べ、教員以外への移行希望の優先順位はどの程度か

(学校回答) **非常に高い** が 一番多い

5段階評価 (①非常に高い、②やや高い、③普通、④やや低い、⑤非常に低い)

- 学校給食会計業務を教員以外に移行した場合は、どの程度、教員の負担（心理的負担を含む。）が軽減されるか

(学校回答) **非常に高い** が 一番多い

5段階評価 (①非常に高い、②やや高い、③普通、④やや低い、⑤非常に低い)



学校給食会計業務を**最優先に**支援する必要がある

# 令和8年度からの教員支援のあり方

## 新たな支援のあり方

令和8年9月から、各学校で行っている給食会計を公会計に移行することにより、会計業務の集約化を図る

### ▶ 教員の負担軽減が図られる

- 学校徴収金事務の一つである学校給食会計は、これまででも教員支援員が担ってきた業務の一つであり、この会計業務を教育委員会事務局に集約することで、全ての学校の事務負担が軽減される
- 教員支援員の配置は、一部の学校に限られていたことから、学校間の支援に係る不公平感が生じていた。公会計への移行により、広く還元される支援として期待できるところから、学校現場に配置する役割を終え、新たな業務担当に充てていく。



これまでってきた「支援」のためのスタッフを配置するのではなく、学校給食会計業務を担うスタッフとしての人材を、教育委員会事務局に配置

# 公会計移行後の業務分担

## 引き続き学校で担う業務

- 噫食管理（嚙食実績、食物アレルギー情報等の管理）
- 納品管理（検品・在庫管理）

## 学校から市（教育委員会）へ移行する業務

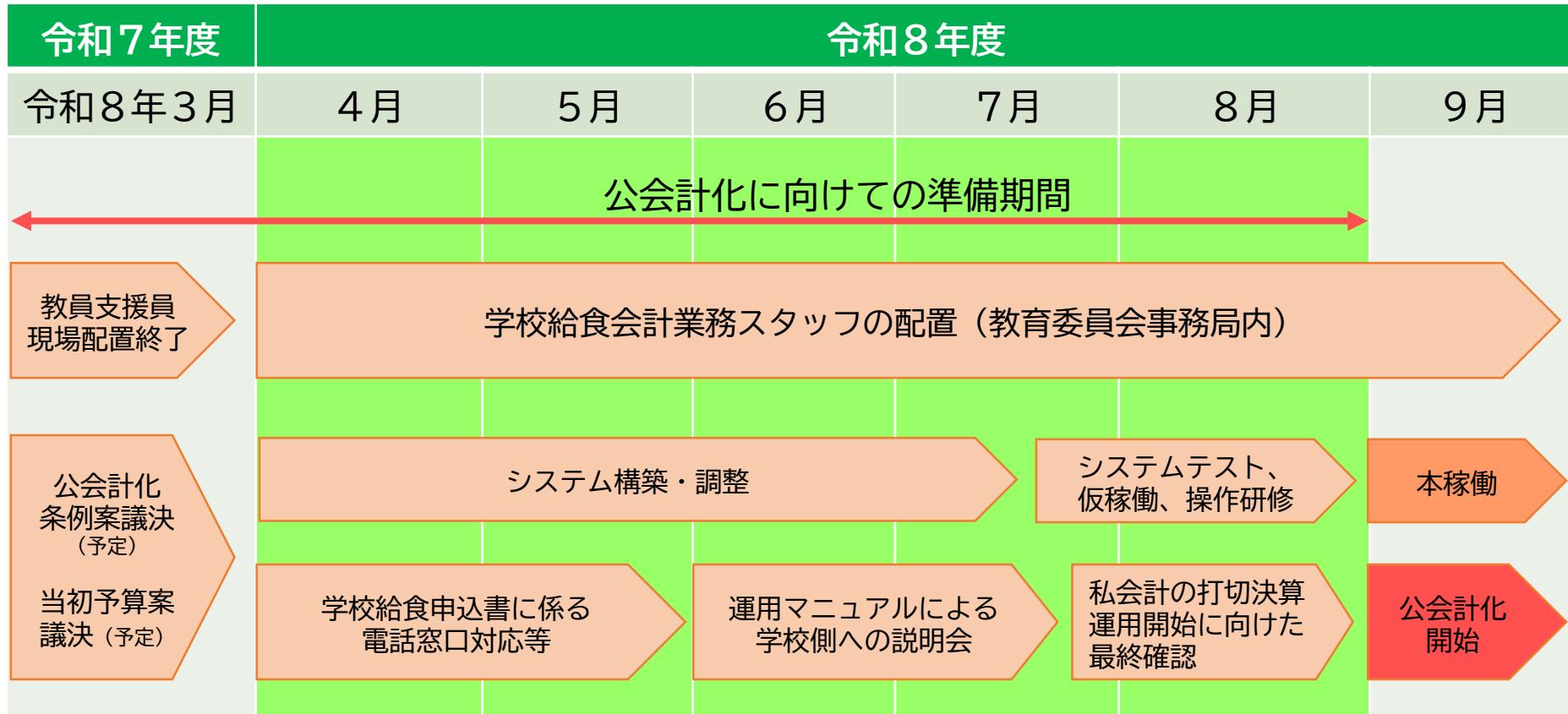
- 噙食者情報管理（児童生徒等名簿・口座情報）
- 徴収・未納管理（納付状況・未納対応）
- 食材納入業者の決定・発注
- 食材費の支払い

全ての  
教育現場で  
負担軽減！

## 保護者の皆さんへのお願い

- 口座振替手続き（新たに申請を依頼）

# 令和8年度学校給食会計業務の流れ



令和8年4月から職員（学校給食会計業務スタッフ）を教育委員会事務局に配置

- 現在、一部の学校に配置している教員支援員による支援業務は、令和7年度末をもって終了
- 具体的な職員の配置（職位、人数等）については、今後、人事部局と協議